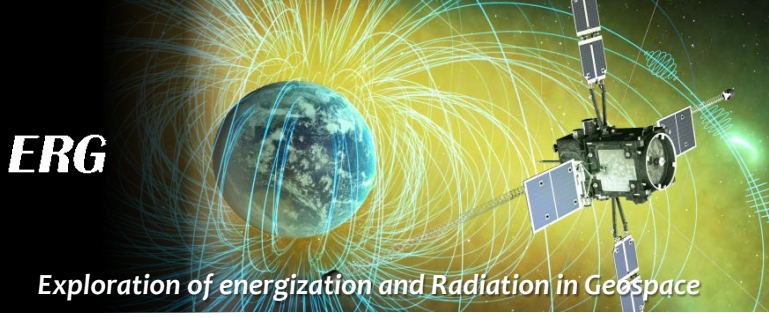


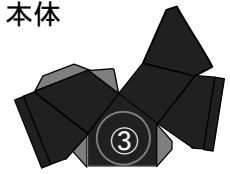
# ジオスペース探査衛星 1/20ペーパーモデル



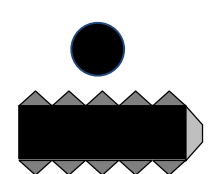
①ロケット結合リング(上:外側, 下:内側)



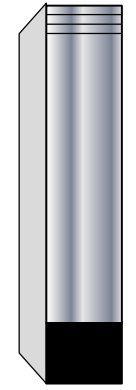
②小型スタースカナ  
本体



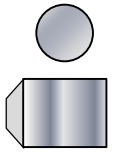
③バツフル



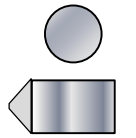
⑫Sバンド  
アンテナ3



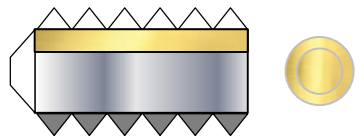
⑬Sバンド  
アンテナ1



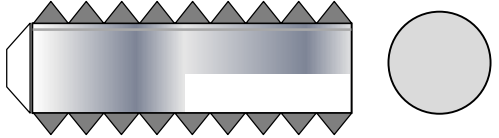
⑭Sバンド  
アンテナ2



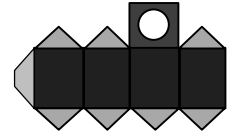
④低エネルギーイオン質量分析器



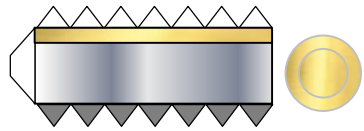
⑤中間エネルギーイオン質量分析器



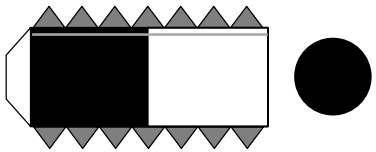
⑥超高エネルギー電子分析器



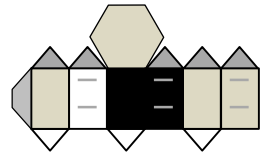
⑦低エネルギー電子分析器



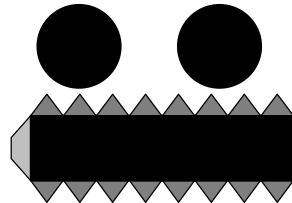
⑧中間エネルギー電子分析器



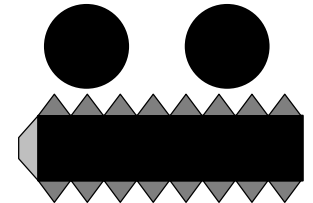
⑨高エネルギー電子分析器



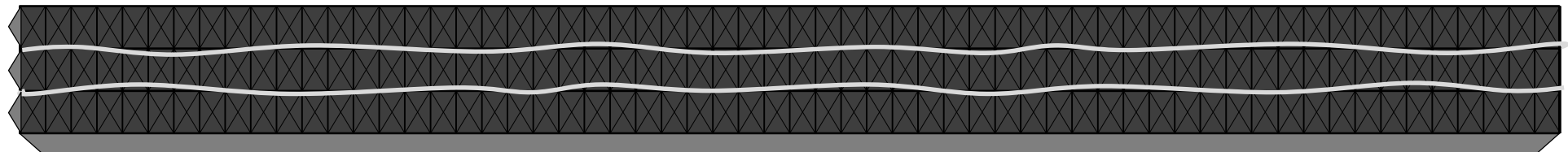
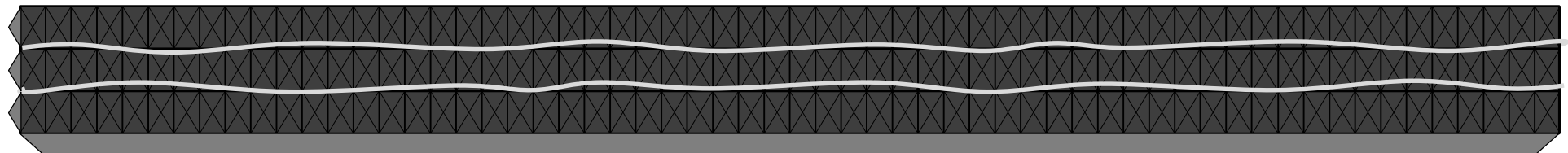
⑩フラックスゲート型磁気センサ

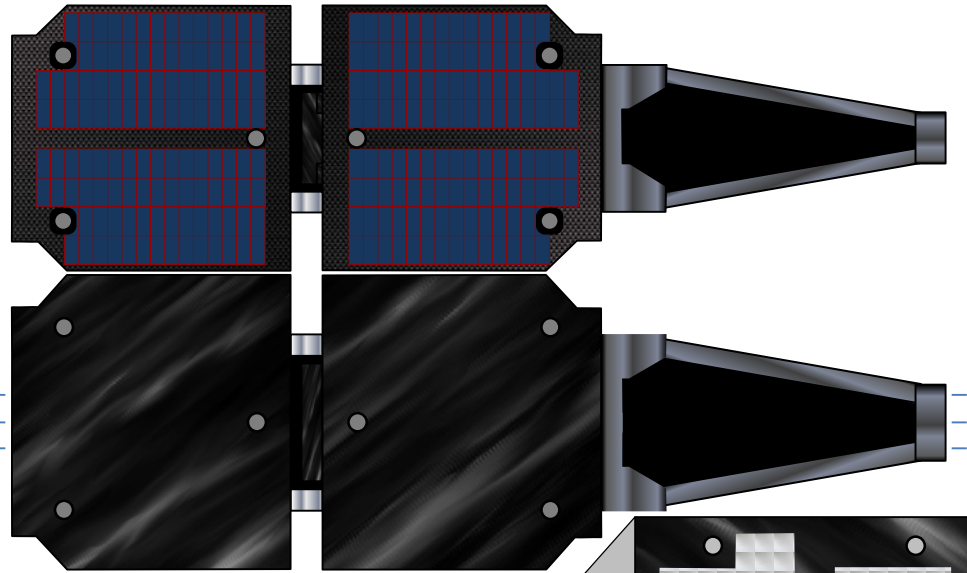


⑪磁場サーチコイル

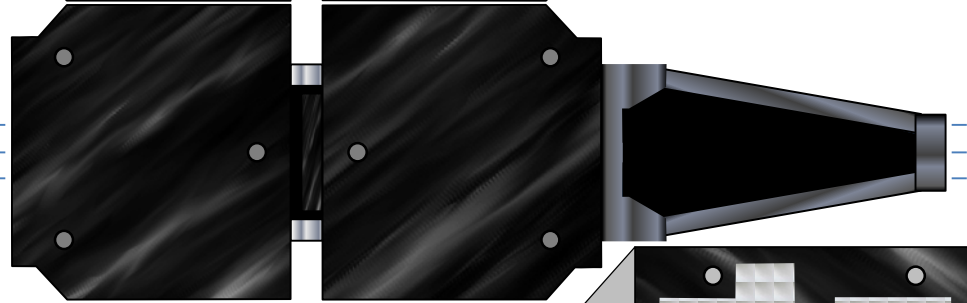


伸展マスト

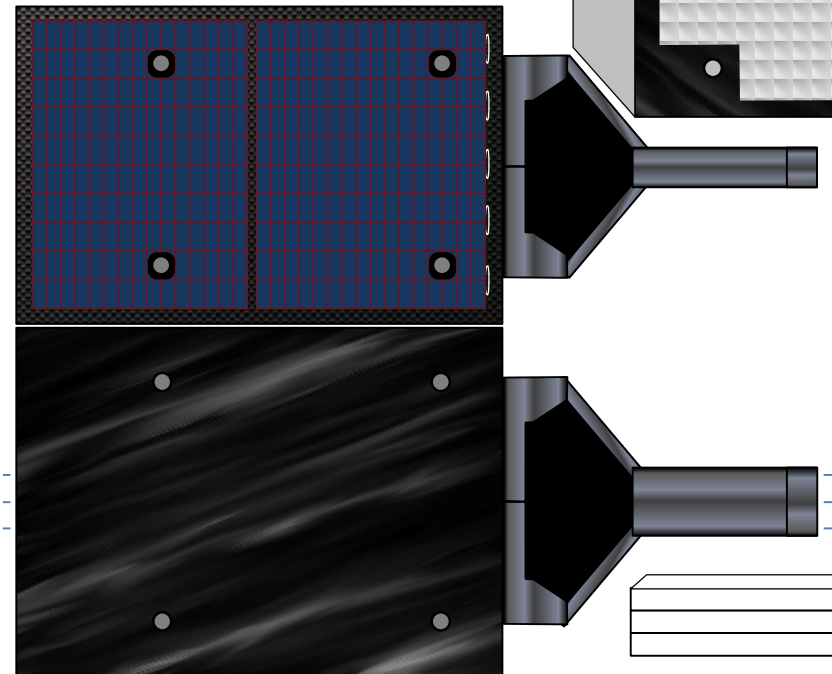




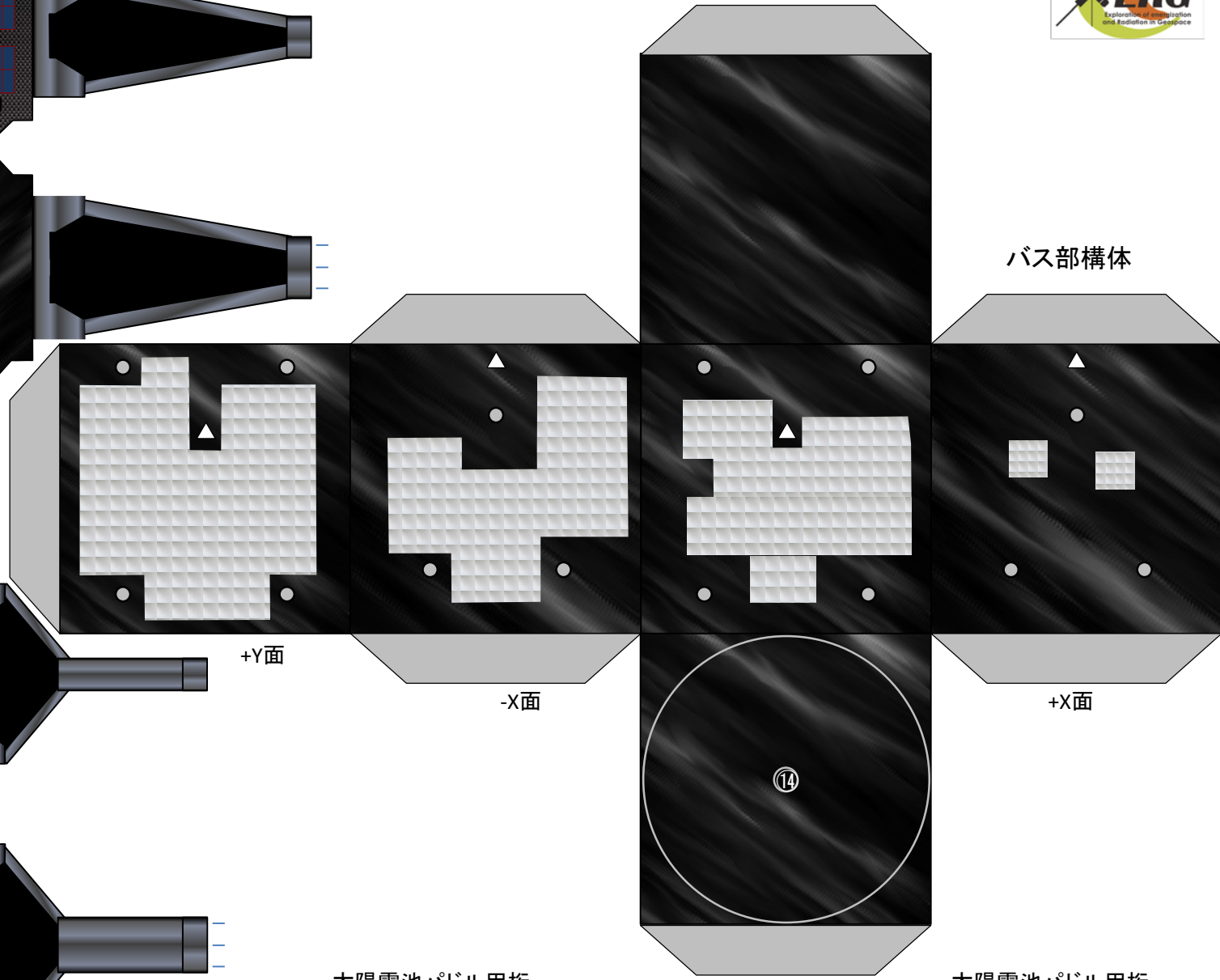
太陽電池パドル3, 4(±X面)



太陽電池パドル1, 2(±Y面)



太陽電池パドル用桁



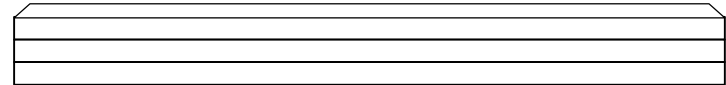
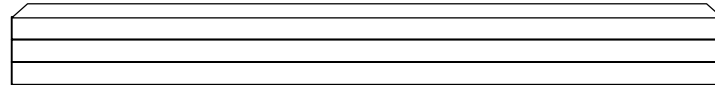
バス部構体

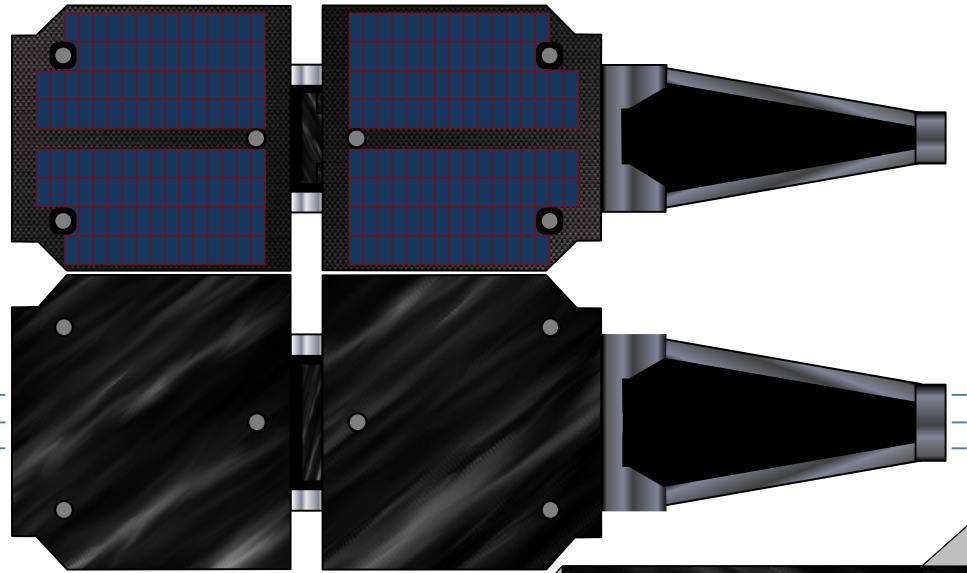
+Y面

-X面

+X面

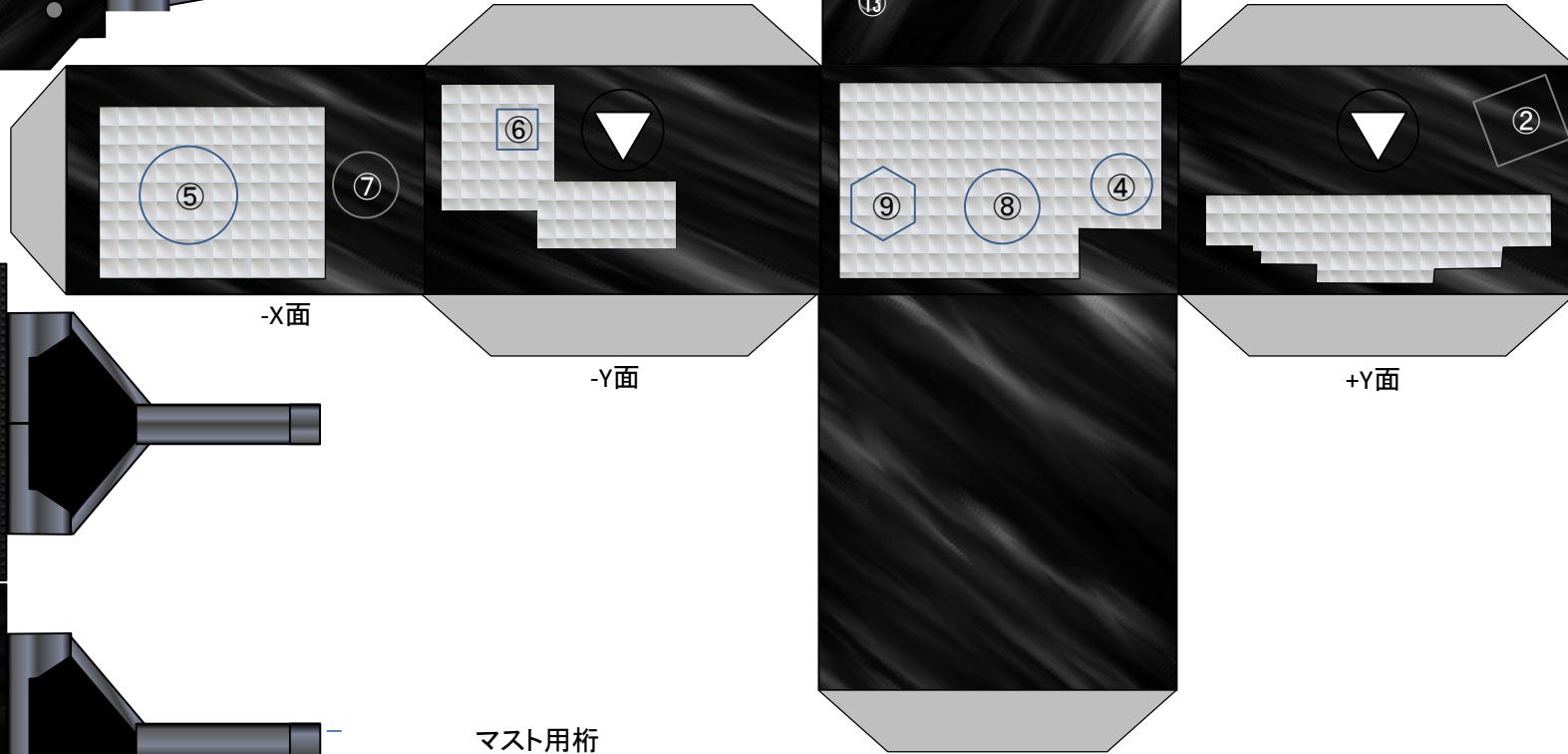
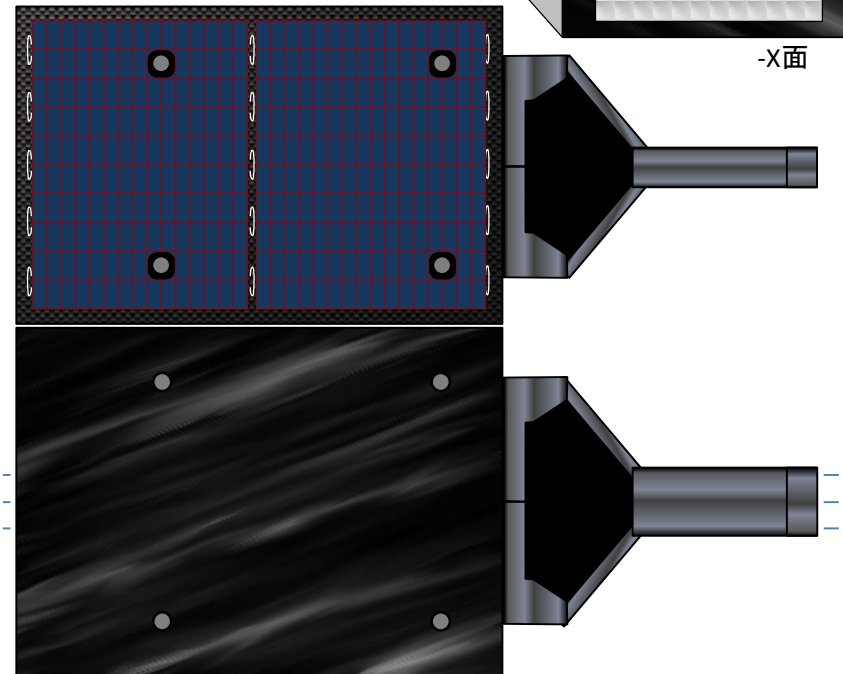
太陽電池パドル用桁





太陽電池パネル3, 4(±X面)

太陽電池パネル1, 2(±Y面)



ミッション部構体

-X面

-Y面

+Y面

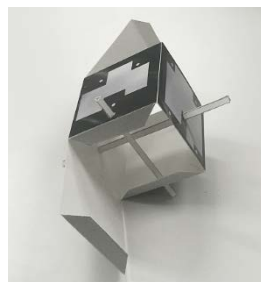
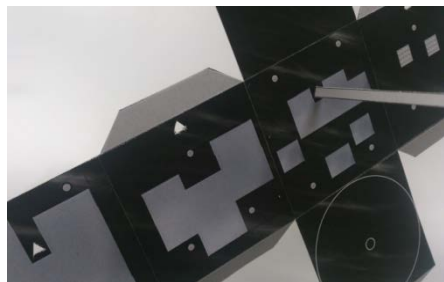
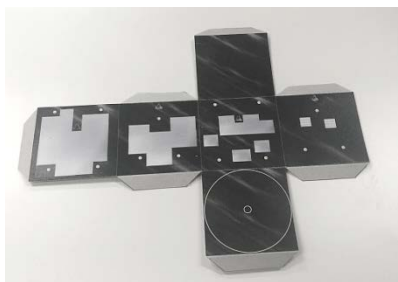
マスト用桁

# 組立て方

準備するもの：はさみ、カッター、カッティングマット、液状のり、定規、ピンセット、千枚通し

※けがをしないように注意しながら組み立ててください。

## 1. バス部構体の組立



バス部構体を切り出して、三角形部分をくり抜きます。

太陽電池パドル用桁を三角の棒状にして、衛星構体の三角形にくり抜いた穴に入ることを確認しておきます。

箱型にして、ふたを閉める前に、桁を2本通し、のりで接着します。その後、ふたを閉めます。

## 2. ミッション部構体の組立



ミッション部構体を切り出し、三角形をくり抜いて、マスト用桁が通ることを事前を確認します。

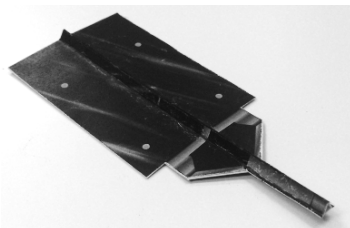
同様にふたを閉める前に桁を接着し、その後、ふたを閉めます。

## 3. ロケット結合リングの取付

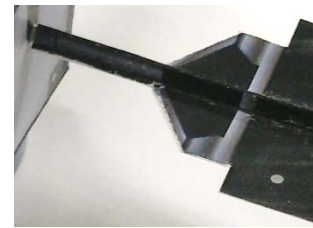
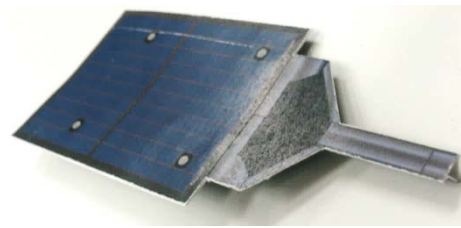


結合リングの内側を、黒色を内側にして円状にし、その後、外側を巻いて、バス部構体の下面に接着します。

## 4. 太陽電池パドルの取付

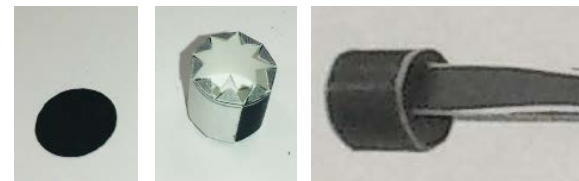


切り出し前に、パドルの黒パーツの左右にある青いガイドラインに定規を当てて、カッターで軽く筋引きをします。



その後、パドルを切り出し、中央を山折り、左右の筋を谷折りし、青い太陽電池パドル面を貼り合わせます。最後に、先端の三角形部をバス部の桁に差し込みます。

## 5. 観測機器の取付



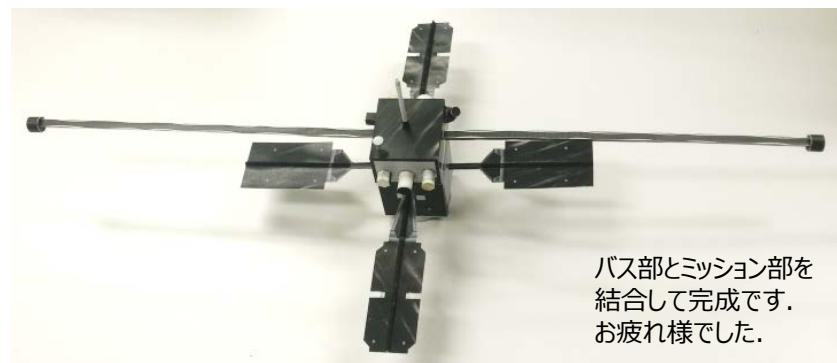
観測機器を組み立て、機器の番号と構体パネル上の番号が一致するように貼り付けます。マストを三角形の棒状にし、ミッション部の桁に差し込みます。⑩と⑪はマストの先端に取付けます。スタースカナは②を先に構体に取り付け、その後③を②に取付けます。

## 6. アンテナの取付



アンテナを所定の場所に取り付けます。アンテナ3の下部に黒いスカートを巻きます。

## 7. 完成



バス部とミッション部を結合して完成です。お疲れ様でした。